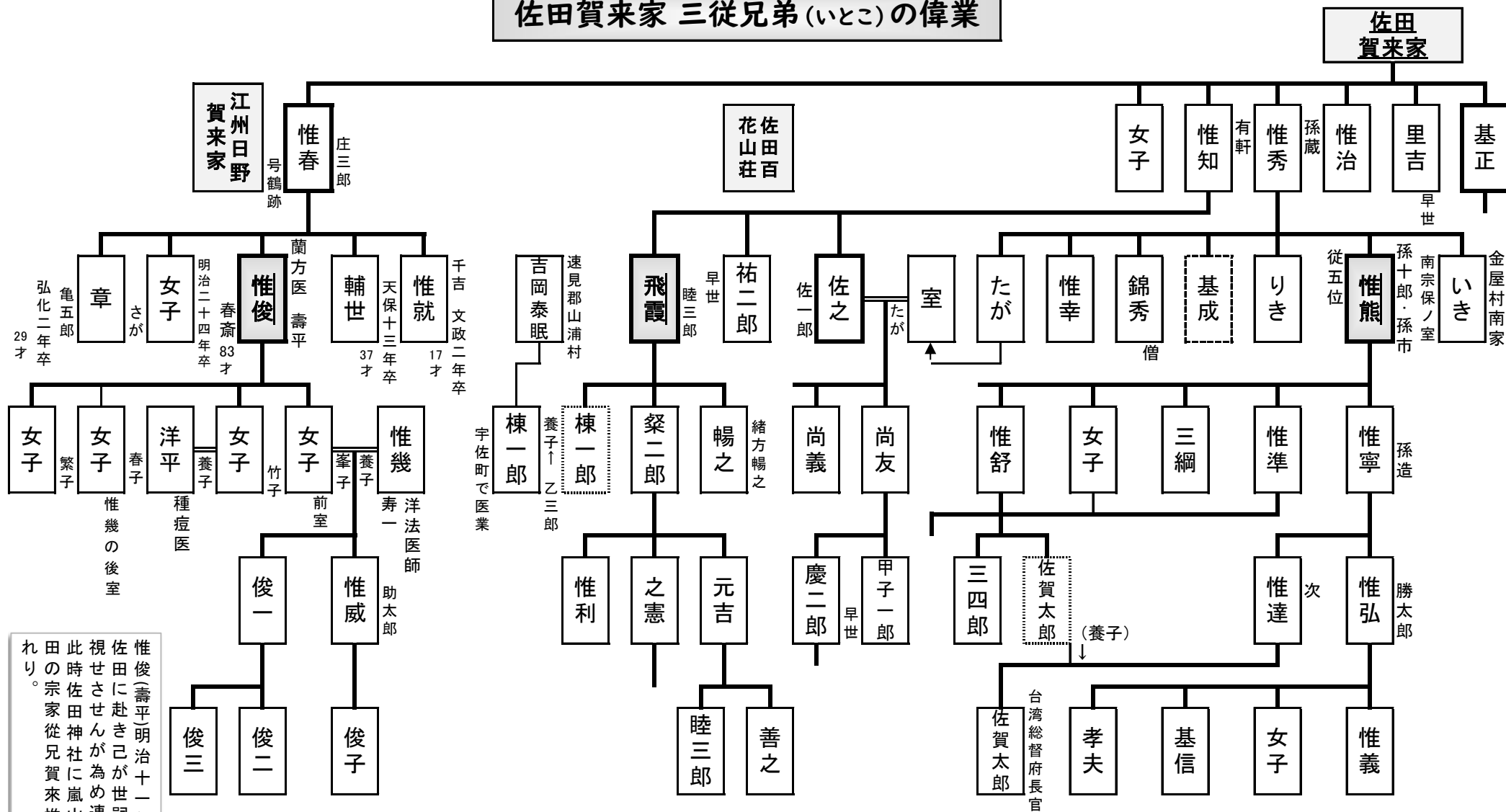


佐田賀来家 三従兄弟(いとこ)の偉業



惟俊(壽平)明治十一年長女を伴ひて古郷佐田に赴き己が世嗣の子に一度郷里を視せさせんが為め連れ來れりと云へり。此時佐田神社に嵐山の額を奉納し又佐田の宗家従兄賀来惟熊に靑具の鞍を贈れり。



江戸時代末期の日野町で天然痘の撲滅に尽力した
～賀来惟俊(壽平)



近代植物学の扉を開いた
～賀来飛霞



反射炉と大砲を造った
～賀来惟熊

